

# SUVACO 「いい家・オブ・ザ・イヤー2024」 発表

## 2025年、これからの家づくりに求められる傾向も解説

住宅設備機器と建築資材のインターネット通信販売を行うミラタップ（所在地：大阪市）が運営する家づくりのマッチングプラットフォーム「SUVACO（スバコ）」は、2024年にユーザーからご支持いただいた住宅事例ランキング「いい家・オブ・ザ・イヤー2024」を発表しました。



# SUVACO

いい家オブザイヤー2024受賞

### ● 「いい家・オブ・ザ・イヤー2024」とは

SUVACOでは、国内の家づくりのプロ（以下、専門家）による優れた住宅事例を掲載しています。「いい家・オブ・ザ・イヤー2024」では、2024年新たに公開した850件の住宅事例（注文住宅・リフォーム含む）の中から、サイト閲覧ユーザーによる「いい家！数」や「お気に入り数」をもとに、反響が大きかった上位15事例を選出しました。

（掲載ページ：<https://suvaco.jp/doc/house-of-the-year-2024-241223>）

| 順位  | 物件名  | 手掛けた専門家              |
|-----|--|----------------------|
| 1位  | &SPACE                                     | こごころ一級建築士事務所 小嶋良一    |
| 2位  | カテドラル廊下の家：空の光と共にくらす                        | ヤマダ・アーキテクチュア 山田真也    |
| 3位  | 街角の森閑 ～喧騒の中で静かにくらすための家                     | エキップ                 |
| 4位  | 天然の大理石に囲まれた「本物の品格」が漂う住まい                   | Co-DESIGN OFFICE     |
| 5位  | 076T.W.ゲストハウス in 山中湖                       | アトリエ137一級建築士事務所 鈴木宏幸 |
| 6位  | 海霞む家                                       | 中村らんアトリエ一級建築士事務所     |
| 7位  | 下鴨の家 新築工事                                  | 越前良太デザイン研究所          |
| 8位  | 青木湖の住宅（リノベーション）                            | ／360° 納谷新            |
| 9位  | 広がりを感じる設え－素材感の引き立つナチュラルモダンな邸宅   千葉・検見川の住まい | タイラヤスヒロ建築設計事務所 平泰博   |
| 10位 | のがたのいえー2つの路地に開かれた庭と土間                      | 一級建築士事務所 ikmo 比護結子   |

※掲載ページではTOP15までを紹介しています。

※集計期間：2023年12月6日～2024年11月15日

## ●「いい家・オブ・ザ・イヤー2024」受賞事例の紹介

### ・1位「&SPACE」

趣味のキャンプを満喫すべく川沿いの土地を購入し、自宅にしながら本場さながらのキャンプを楽しめる注文住宅です。ゆったりと流れる川のせせらぎが聞こえる室内からは、川の奥に広がる畑や連なる山々の美しい景色を望むことができます。



1位「&SPACE」／こちこち一級建築士事務所 小嶋良一

### ・2位「カテドラル廊下の家：空の光と共にくらす」

住宅が密集する旗竿地に建つ、築100年の戸建てをリノベーションした事例です。室内の中廊下に小さな吹き抜けを設計し、高窓を設置したことでプライバシーを保ちつつも、採光と開放感のある住まいを実現しました。高窓越しに空が望める廊下は、施主もお気に入りの場所になっています。



2位「カテドラル廊下の家：空の光と共にくらす」  
／ヤマダ・アーキテクチュア 山田真也

### ・3位「街角の森閑～喧騒の中で静かにくらすための家」

人通りの多い道の角地に建つ注文住宅の事例です。いかに閉塞感を与えずに周囲の喧騒から遮断するかが大きな課題となりました。

階段やキッチンの一部に吹き抜けを通し、縦空間を意識的に取り入れることで、落ち着いた印象の室内にメリハリが生まれています。



3位「街角の森閑～喧騒の中で静かにくらすための家」／エキップ

## ●2025年、これからの家づくりに求められる傾向

今回の「いい家・オブ・ザ・イヤー2024」の結果をもとに、2025年の家づくりに求められる傾向について、株式会社ミラタップ 住宅事業部長・會田 敦史（あいた あつし）の解説は以下の通りです。

### 1. タワーマンションもリフォーム適齢期に

建築基準法見直し後の1997年以降、駅前の再開発などで多くのタワーマンションが建設されてきました。それらのマンションがいよいよリフォーム適齢期を迎え、設備の交換と一緒にライフスタイルに合わせた部分的なりノベーションの需要が増えると予測しています。

### 2. 郊外への移住が増加

リモートワークの定着や主に都市部における住宅価格の高騰から、郊外への移住が増加しています。持ち家を売却して都市部から少し離れた広めの土地や戸建て・マンションを購入し、設計・施工費に予算を掛けるといった傾向が伺えます。特に戸建て住宅では、庭にウッドデッキを設置したり壁に大きな窓を取り入れたりと、室内外をシームレスに繋げた住まいが人気です。

### 3. 構造設計や耐震・断熱は等級による数値化が重要に

温暖化による異常気象や自然災害の発生により、安全性を重視した住まいへの関心が高まり、新築では「耐震等級3」が主流となってきました。SUVACOでも「許容応力度計算」を積極的に取り入れ、住まいの安全性を見える化し、安心を担保できる家づくりに一緒に取り組んでいただける専門家を厳選して、サービス向上に取り組んでまいります。

## SUVACOとは

株式会社ミラタップが運営する、理想の家づくりをしたい人が注文住宅やリノベーション・リフォームのプロに出会えるマッチングプラットフォーム。日本国内の専門家（設計・デザインや施工のプロ）の住宅事例やトレンド・お役立ちアイデアを配信しています。

専門家紹介サービス「すばこと」（[https://suvaco.jp/expert\\_recommend](https://suvaco.jp/expert_recommend)）では、アドバイザーがお客様のご要望や条件をヒアリングし、一人ひとりの価値観に合った専門家を無料で提案・紹介しています。

ミラタップは住宅設備機器・建築資材の企画開発、輸入、販売を行っております。「くらしを楽しく、美しく。」を経営理念として掲げ、ミニマリズムをコンセプトとしたデザイン性の高い商品をインターネットで、ワンプライスカつ普及価格帯で販売。お客様への直接販売という、業界の常識を覆すビジネスモデルを構築してまいりました。2020年には住宅事業部を立ち上げ、デザイン性の高い住宅を提供する戸建て事業《ASOLIE（アソリエ）》を展開しております。2024年10月1日に株式会社サンワカンパニーから株式会社ミラタップへ社名を変更しました。

会社名：株式会社ミラタップ  
本社所在地：〒530-0011大阪市北区大深町5番54号  
グラングリーン大阪南館ゲートタワー13F  
設立：1979年8月22日  
代表取締役社長：山根 太郎  
事業内容：住設・建材EC事業、住宅事業  
株式市場：東証グロース（証券コード3187）  
ショールーム：東京、大阪、仙台、名古屋、京都、福岡、  
横浜（スマートショールーム）、  
札幌（スマートショールーム）

### 本件に関するお問い合わせ

株式会社ミラタップ マーケティング課 広報チーム 永井 星波  
email：pr@miratap.co.jp TEL：06-6359-4772 FAX：06-6359-6651